

会 議 録

| | | | |
|------|---|-----|-----|
| 会議名称 | 平成 28 年度 交野市立幼稚園民営化検討委員会（第 1 回） | | |
| 開催日時 | 平成 28 年 10 月 31 日（月） 19 時 00 分～ | | |
| 開催場所 | 交野市役所 3 階 第 2 委員会室 | | |
| 出席者 | 委員 7 名、外部アドバイザー 6 名、事務局 5 名 合計 18 名 | 傍聴者 | 5 名 |
| 内 容 | <p>1. 開会</p> <p>2. 委員長挨拶</p> <p>3. 委員及び外部アドバイザー紹介</p> <p>4. 議題</p> <p>(1)公私の役割・現状について</p> <p>事務局 資料 1 に沿って説明</p> <p>委員長 ご質問またご意見などがございましたらお願いします。</p> <p>委 員 A 障がい児について、現在は民間保育所でも受入されているとのことですが、資料では全市的に受入とあり、これらの違いはどのようなものですか。</p> <p>事務局 過去には加配が必要な児童については公立で受入することが多かったのですが、現在は民間保育園で加配児童を受入した場合、加配保育士の人件費について市が補助するようになり、民間保育園での受入が進んでおります。障がい児の受入については公立、民間を問わず、全市的な課題であるということです。</p> <p>アドバイザー A 障がいの程度によって、個人差もあると思いますが、重い場合も民間でも受入できるのでしょうか。ノウハウのようなものも必要があるように思います。</p> <p>事務局 障がい児童は、様々な児童がおられる中、民間保育園でも受入が進んできてはおりますが、障がいの程度が比較的重い方については、やはり公立で受入るといった過去からの経緯があります。 例えば発達障害などは集団の中に入ることにより、当該児童の伸びを促すことにつながると言われておりますが、4・5 歳児は 30 人の児童に 1 人の保育士という配置の中で、幼児期に必要な自立的な成長を期待するところがあります。しかし、加配の保育士が一つの部屋の中にたくさんいることになると、バランスの関係で大人が多</p> | | |

すぎるということが、あまり好ましくないこともあるものと考えております。

アドバイザーB

民間保育園での加配はコスト面から厳しいとのことですが、以前は市から 5 万 5 千円の補助しかなく、加配保育士を配置することはほとんど無理でした。数年前から加配保育士を雇用できるだけの補助を市からしてもらえるようになって、配置ができるようになりました。ただ、2月に次年度の入園児童が内定し、面接したときに初めて加配が必要だということがわかることが多く、民間保育園の立場からはなるべく受入するように考えているものの、その時点から職員を採用することは難しいところがあります。

委員A

民間保育園で調理を業者委託されている場合、栄養士がいなくなっていますか、栄養士の関わりなしに給食提供しているのですか。

事務局

業者委託の場合、園が直接栄養士を雇用しているのではなく、委託業者に栄養士がいて献立作成をします。

(2) 運営コスト比較について

事務局

資料2に沿って説明

委員B

民間保育園は7つあると伺いましたが、なぜ、この資料では3園を選択されているのですか。

事務局

公立の保育所の定員が110人、120人、120人でありますので、公私立の比較するため、定員の近い民間保育園、いずれも定員が120人のものを選択し、その平均をとって、公私立の比較できるようにしたものです。

(3) 障がい児等の受入状況について

事務局

資料3に沿って説明

アドバイザーA

重度の障がいがある児童の場合は、公立での受入になると思いますが、公立が2園になれば、その児童が通う保育所が遠くなったりするようなことが懸念されます。

他の市ではバスを出すようにしていると聞いたことがありますが、交野市ではそのような検討はありますか。

事務局

バスに関する検討はしておりません。それは保育所か幼稚園かわかりますか。

アドバイザー A

保育所か幼稚園かはわかりませんが、その市の検討では、民営化をするにあたって、公立が減るためバスを出すことになったと聞いています。

委員長

民営化にあたっては様々なことが想定されます。民営化を行った後のことで心配する要素も出てくると思いますが、そういった部分をこの委員会で出していただいて、検討をするということがこの委員会の役割であると思いますので、他にもご意見などを出していただいて、検討してまいりたいと思います。

(4) 民間保育園へのアンケート調査（案）について

事務局

資料4に沿って説明

委員長

アンケートの実施の時期はいつ頃を考えていますか。

事務局

できるだけ早期と考えておりますが、次回、またその次くらいにはアンケート結果についてお示ししたいと考えております。

アドバイザー C

「3. 給食業務について」の「①給食は自園調理ですか」のところは、自園調理か委託かということですが、資料1で自園調理で業務委託とされているところであり、質問の仕方を修正した方がよいと思います。

「4. 保育士以外の配置状況について」では、例えば看護師や調理師など常勤と非常勤が複数人混ざっている場合は書けないように思います。

「7. 保育料以外の費用負担の状況」では、公立では3歳以上の主食を持参していると思いますが、民間園では主食費を徴収しており、それを記入するための欄が必要と思います。

「8. 遠足の実施などの状況」遠足はどの程度を遠足と呼ぶのか、0歳児のお散歩は遠足にあたるのかなど、示してもらえますか。

事務局

お散歩は遠足とは考えておりませんが、出た先でお弁当を食べて帰ってくるようなものから遠足に含めていただくように考えております。

委員長

事務局は、アンケートの欄外にここでいう遠足とはどのようなものを指すのか、定義を書き記すようにしてください。

アドバイザーD

公私の違いに看護師が挙げられており、看護師を配置していない保育園において、ケガや病気などがあった場合、相談の経路であったり、誰が病院につれていくのかとか、どういった体制をとられているのか、といったことを保護者目線で聞かせていただくと安心できるように思います。

委員長

看護師の配置のない保育園での、緊急時の対応方法などを記載していただくということでもよろしいでしょうか。

アドバイザーD

いずれこういった質問は出てくるかと思うので、お聞きしておいた方がよいと思います。

委員A

民営化にあたっての判断材料にするのであれば、デメリット的な部分を聞かないでもよいですか。

アドバイザーA

そういう意味では、保護者アンケートは有効かもしれません。

委員長

まず、公立と私立の違いを把握し、その中で留意点等を洗い出すということですので、できるだけ、先ほどからいただいた意見を反映させて、比較できるようにする材料とするということが必要であると考えます。

委員A

アンケート調査を依頼する先はどの範囲ですか。

事務局

市内民間保育園の7園です。

委員長

アンケート結果については、公立と比較したかたちでまとめたいと思います。

副委員長

今回資料ではお示ししておりませんが、他自治体の事例で民営化を実施した施設において、何が課題となって、今どうなっているかといったあたりについては、市として行政間で調査することが可能ですので、調査の上、本委員会に報告したいと考えております。

委員 A

このアンケートは、現状どうかという事実を把握するということでよいですか。

委員長

そのとおりです。

公立園の民営化については、他市では随分以前から進められているところです。

新制度で「公私連携型」というものができましたので、これを取り入れた民営化事例について調査したいと考えています。

また、新制度前に民営化された事例につきましても、事務レベルで広く調査をかけて留意点を洗い出すなどしていきたいと考えております。また、市内の民間保育所の皆様にもご意見など伺いながら進めていきたいと考えております。

アドバイザー E

保育士の人材不足の話が出ましたが、今、国では子育て支援員の養成が進められており、国は養成しなさいと都道府県に要請しています。都道府県の次は市町村が子育て支援員を使うことを可能とする場合は条例化することになります。そうなれば次は法人がどうするのか判断することになってきますが、人材不足に対応するためにはそういうシステムも考えていかないといけないと思います。また、その条例は時限的な条例とするのか、永久的なものにするのかも考えないとはいけません。いくら計画があっても人材がいなければ動きません。人材不足の中、子育て支援員でも構わないのか、保育士のある部分までいいとか、職責の部分まで分析をした上で、導入するのか否か、市町村によって考えが違いますが、検討する必要があるのかなと思います。

次に、保育士のスキルアップですが、大阪府社会福祉協議会の保育部会というものがあると思いますが、どういう研修メニューが用意されているのかとか、研修参加するとポイントがもらえるととか、そういうものと民間保育所が連動しているのか教えて欲しいと思います。

給食業務については、宗教食、例えば豚肉や調味料がダメとか外国人の子どもさんが多い場合は、このあたりも留意していく必要があるかもしれません。

また、保育士以外の配置状況ですが、どんな職種の人、例えば無資格の人が入っているとか、いろんな人が入ってもいい部分もありますので、教えてほしいと思います。

保育士の年齢構成については、勤続年数も分かればいい。産後に退職されることが多いと思いますが、人が動くということのメリットもありますので、早く辞めるからダメということではないと思います。また、退職した方は潜在保育士となりますが、そういった人材を退職前の保育園の園長が把握しておいて、復職を促すということをやり方も保育士不足を解消する一つの手段として考えられます。また、ハローワークも手広く保育士人材の募集をしておりますのが、潜在保育士を探すのは難しいものがあります。

これらのようなことがわかる項目があればいいと思い、いろいろ言いましたが、実態と調整しながら作っていただけたらいいと思います。

アドバイザー C

リターンしてくる保育士もいます。また、他の職についてからとか、語学留学したいとか、他の園から戻ってくる保育士もいます。

アドバイザー E

産休や育休の後、本人が希望したら園に復職できますか。

アドバイザー C

遠方でない限り、復職可能です。

委員長

ありがとうございます。アンケートにつきましては、いろいろとご意見等もいただいておりますので、事務局の方で参考にさせていただいて、進めさせていただきたいと思えます。

その他何かありますか。ないようですので、議題の4点について、終了させていただきます。

(5) その他

委員長

その他の案件として事務局の方から何かありますか。

事務局

特にありません。

委員長

委員また外部アドバイザーの皆様からその他の案件として何かありましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。ないようですので、事務局の方から今後の予定等について報告をお願いします。

事務局

今後の予定ですが、日時等は決まっておりません。年度末に向けて数回にわたって開催させていただきたいと考えております。外部アドバイザーの皆様におかれましては、事務局の方からご案内させていただきます。

なお、本検討委員会の会議録や資料については、市のホームページで公表する予定としております。よろしく申し上げます。

委員長

次回の委員会につきましては、調整の上、ご案内させていただきます。

外部アドバイザーの皆様におかれましても、調整の上、ご案内させていただきますので、引き続きよろしく申し上げます。

| | |
|--|---|
| | <p>では、本日の案件につきましては、全て終了いたしました。これにて第1回委員会を閉会とさせていただきます。長時間にわたりまして、ありがとうございました。</p> |
|--|---|